

インクルーシブ 「うらじゃダンス」 プロジェクト

岡山大学教育学部酒向研究室

プロジェクト背景

 誰もが文化的・社会的活動に参加できる

「共生社会」の実現が急務

 法的基盤の整備が進展

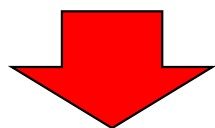
- ・ 障害者基本法改正 (2011) / 障害者権利条約批准 (2014)

2016: 「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」 制定

- ・ 文化芸術活動への主体的参加の意義を制度的に明確化

プロジェクト背景

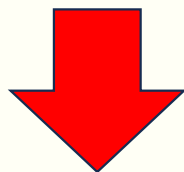
岡山県において
地域社会に広く開かれた
公共的文化活動であるうらじゃでは...



障がいのある人々の参加が不十分
「文化的活動への参加機会の格差」

プロジェクト目的

うらじゃにおいて、
障がいの有無に関わらず、誰もが地域文化の
担い手として参加できる仕組みをつくる



「共生社会」を実践的に実現すること

実践の舞台は... 「うらじゃ」



第30回にして初挑戦！！

インクルーシブ踊り連

「一期一会～輪舞温羅」 踊り子総勢40名

障がいの有無に関わらずうらじゃ踊りを自由に楽しむ
うらじゃの基本コンセプト「共生と融和」の実現

○練習：第1回 5/11 ～ 第7回 8/17

○本番：8/23 うらじゃコレクション

8/24 ハレノワ演舞場(大ホール),イオン演舞場,総踊り

実行委員会

福祉

キッズハウスいちご
ありがとうファーム
社会福祉法人旭川荘

企業・民間

・うらじゃ振興会・株式会社コネクシー
・スマートドライバースクール
・官公学生服株式会社
吉村武大 高木基博 高木大地

行政

岡山市

産官学福祉連携

岡山大学

[監修] 酒向 治子（学術研究院教育学域教授）
・岡山大学酒向研究室
・岡山大学ダンス部学生
・日本身体表現学協会
・高岡敦史（岡山大学学術研究院教育学域准教授）

対象//地域

キッズハウスいちご利用者
旭川荘利用者 など
パラリンピック選手

その他 協力団体

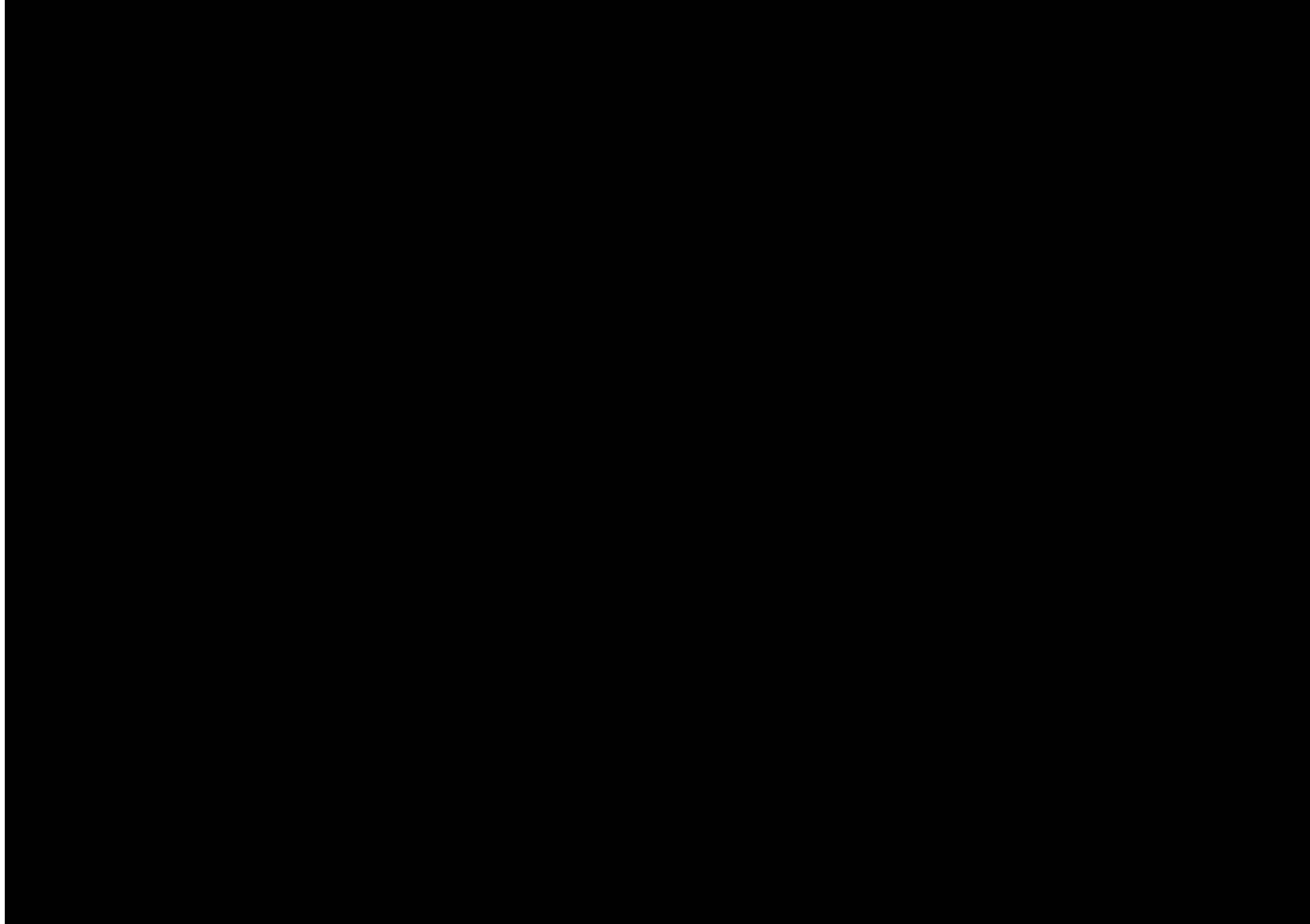
<企業>
飛鳥グループ協同組合

<福祉>
たくふう会グループ

協力者・協力団体

- ・代表：吉村武大 さん
- ・副代表：高木基博 さん
- ・幹事：高木大地 さん
- ・岡山大学教授：酒向治子 先生、高岡敦史 先生
- ・岡山大学ダンス部 学生8名
- ・有限会社ストロベリー
- ・社会福祉法人旭川荘
- ・スマートドライバースクール
- ・飛鳥グループ協同組合
- ・官公学生服
- ・キッズハウスいちご
- ・たくふう会グループ
- ・ありがとうファーム
- ・山陽新聞社 / OHK / RSK







振付

衣装



インクルーシブうらじゃダンス の開発

音楽





振付

シンプルな手の動作 + 繰り返しの構成

- 💡 特徴 . . . 簡単で覚えやすい！
- ⊗ 制約 . . . 体をねじる動作／隊形移動

音楽

「うらじゃ原曲」の0.9倍速

→速すぎないスピードで取り組みやすさ向上

衣装

試着・ヒアリング



完成！



カンコー学生服との協働  による
ユニバーサルデザイン

衣装の工夫

♡ 「感覚過敏」への配慮

- ・ 肌に優しい素材の使用
- ・ キラキラした材料の不使用

♡ 「身体的特徴」への配慮

- ・ 身幅を工夫したS・M・Lの3サイズ規格
- ・ 車椅子の車輪に巻き込まれない丈

カンコー学生服・福祉施設
障がいのある子供たちとの試着会



ハチマキは
好みに合わせた
巻き方で！



肌に優しいシールで
メイクアップ！



指導・練習の工夫



見通しを持たせる視覚支援

- ・ スケジュール
- ・ 振り付けの流れ
などを黒板に記述
→不安感の軽減



「分かりやすい」声掛け

- ・ 動きの左右の指示
- ・ 端的な説明
- ・ はっきり大きな声（音量）



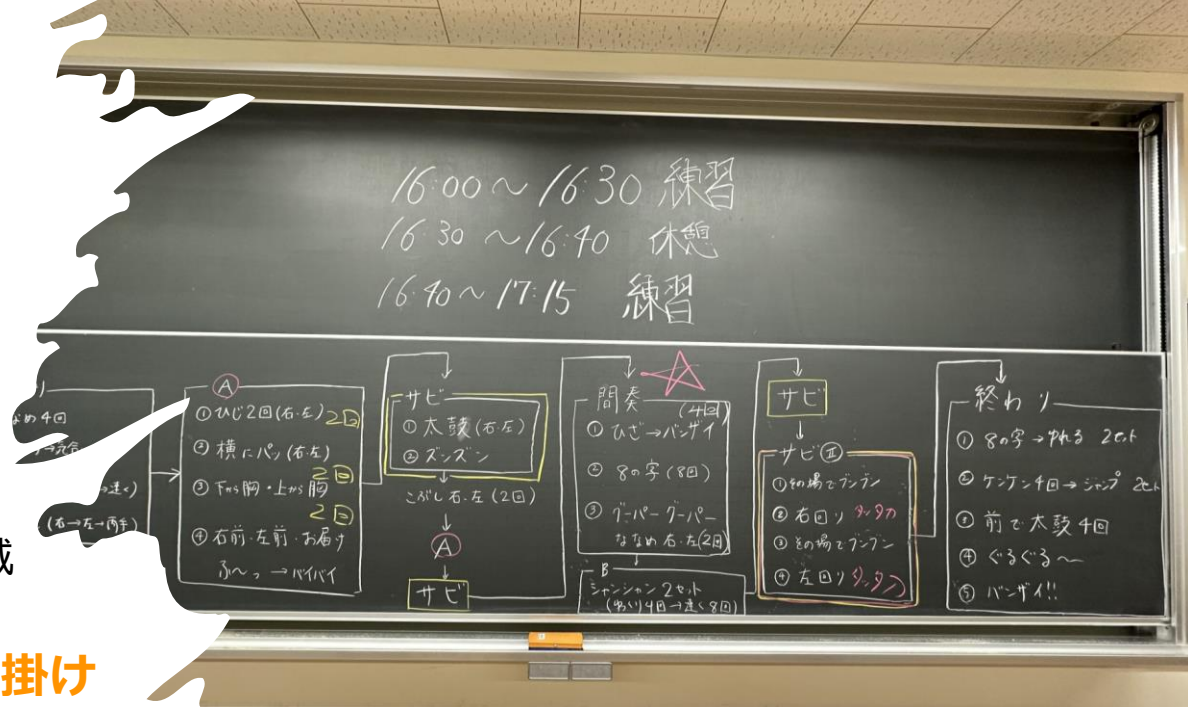
個別↔全体の視野の切り替え

- ・ 心身の状態に関するヒアリング
- ・ 保護者さんとの連携

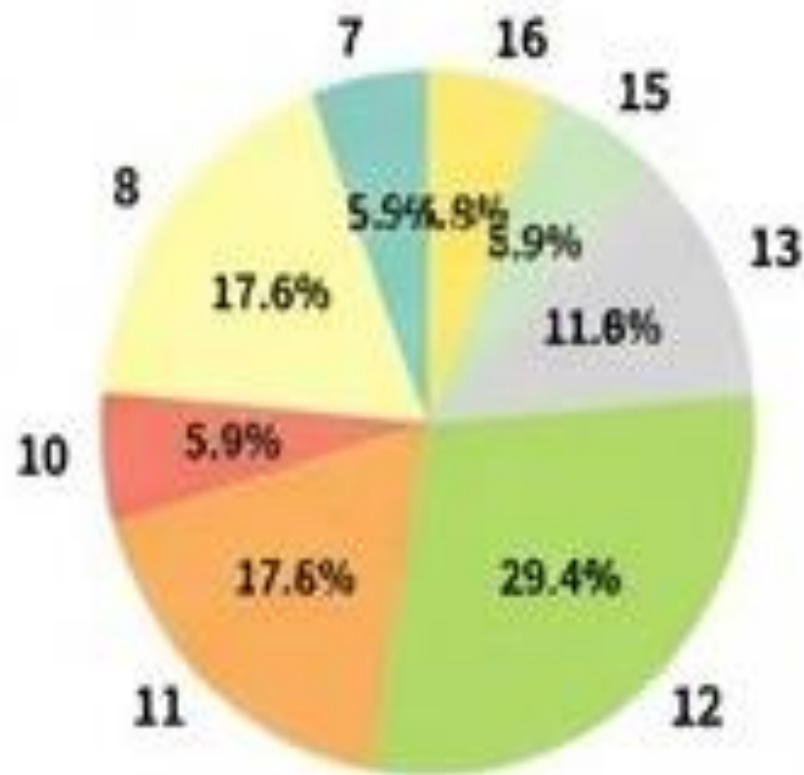


安全で快適な練習環境

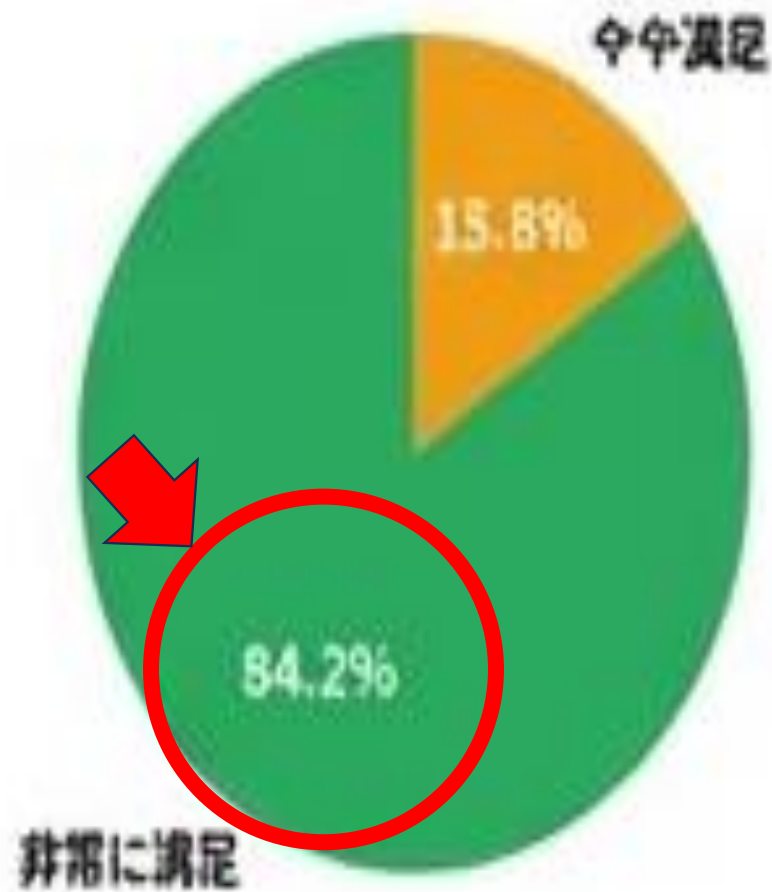
- ・ 体温調整が難しい人
→空調のこまめな調整
- ・ 車椅子ユーザー
→広くて段差のない空間



8/24
身体活動量
【本番】



活動満足度





参加者の声

親子の夢が叶った...
達成感と感動

参加者の声

本当の意味で社会に参加した実感
社会的意義の創出

たくさんの方と繋がれた...
コミュニティの拡大

国境を越えて... インクルーシブ連の可能性



参加者の声

この活動がもっと...
来年も参加したい！

ご清聴ありがとう
うらじゃ！！！！